

Reason for Faith

なぜイエス・キリストを信じるのか

第1号 2012年8月10日

発行: eBible Japan

(<http://ebible.jp>)

編集: 時田 敏彦

我々に感覚、理性、知性を備え
給うた神が、それらを使わぬよ
うに我々を命じるとは思えな
い。

ガリレオ・ガリレイ



「神の粒子 ヒッグス粒子発見！」

科学者は見えないものを信じて真理に挑む

まだ誰も見たことの無い、そして一瞬しか存在しない素粒子を見つけるため、莫大な費用を掛けて研究する科学者は、その理論の正しさを確信するからこそ、その研究にすべてを賭けるのでしよう。

私たちのまわりには目に見えないものはたくさんあります。空気も目に見えないけれどその存在は疑いません。

科学者というのも、目に見えないものを論理的に証明していくことを常としています。重力も、電波も、陽子も中性子も、素粒子も、その存在を確信するのは、それが合理的だからです。

我々も同じように、目に見えない神を、確信することができます。神が存在することが十分納得できるからです。(そのためには科学的方法だけでなく、歴史的方法も必要ですが。)

信仰は決して、理性に反して信じることでなく、理性とは別次元のものとして単なる心の問題として考えるものではありません。

理性を超える要素を持っていますが、理性に反するものではないのです。

嘘でも幸せならいい?

「鯛の頭も信心から」

何でもいから信じる心が大切だ、それでその人が幸せだと感じればいい、という考えがあります。

ある人々は、聖書の記述が歴史的に真実かどうかなどよりも、その人の信仰が実際に役に立つかどうか、すなわちその人を幸福にするか、社会を良くするのに役立つかどうかだと主張します。そして、人が幸福になるならばどんな宗教でも構わない、という「寛容」な結論に陥ります。

しかしこのような信仰が真に力を持つでしょうか。神話や作り話が人を変えるのでしょうか。神がいるかないか分からずに祈る

祈りはなんとむなしなことでしょうか。

そのような人はパウロの言うように「最も惨めな者」(1 コリント 15:19) になってしまうでしょう。
(裏に続く)

サウロはますます力を増し、イエスがキリストであることを証明して、ダマスコに住むユダヤ人たちをうろたえさせた。(使徒 9:22)

キリスト教エッセンス 1. 正と不正の基準

「ナルニア国物語」で有名なCS・ルイスの名著「キリスト教の精髓」より。

けんかをするときには、お互いに自分の「正しさ」を主張しますね。そこには何が「正しい」ことなのかというお互いに共通の基準があることを前提にしています。そうでなければ自分の正しさを主張しても意味を成しません。

人間には時代や国に関係なく、共通した「正しさ」「道徳」についての認識があります。これを「自然の法則」と呼びます。

これは「本能」ではありません
なぜなら、本能に反する行動をさせるからです。
(裏に続く)



キリスト教エッセンス 1. 正と不正の基準 (続き)

たとえば自分の命を犠牲にして他者を助けるとき、自分を守る本能に逆らって行動します。自分を犠牲にしても彼を助けるべきだ、という思いがあるはずで、また教育や社会的しきたりによるのでもありません。

この「法則」は時代や国を越えて共通しています。国同士の争いであっても、どちらが正しいか判断するために「自然の法則」が基準となっています。

しかも人間はそれを完全に守っていません。にもかかわらず「こうあるべきだ」と考えています。つまり自分に都合の良い基準ではなく、客観的な基準が存在しているのです。

このような真の道徳的法則があり、それを破っていることを認めない人には、キリスト教は語るべき言葉を持っていません。

(次回に続く)

(続き)

100%の答えはどこにもない

しかし、100%の証拠がある訳ではなく、誰も反論できないほどの論理があるわけではありません。そもそもこの世界に100%の答えなどありません。どのくらい確かなのかという判断をするしかないのです。

科学的事実も常に新しい発見により変わってきました。わからないことをわからないと認めることも科学的態度です。

かつては光が粒子であり、かつ波であるという事実に対して、その理由がわかりませんでした。今は新たな理論の発見により解決しています。

今はわからないこと、矛盾していると思われることも正直に認めつつ、それでも今分かっていることを根拠にして人はいつも決断し、行動していくものです。聖書にも分からないことはたくさんあります。神がいるなら何故、という疑問も残ります。しかしそれでも神を信じることができる十分な根拠が、今私たちに示されています。

これからこの小紙を通して皆さんと考えて行きたいと思います。

ちょっと一息!



絵の真中の4つの点を30秒ほど見つめ、壁などに目を移して瞬きしてみてください。

誰か見えますか。

(でもこの人の顔は誰も見たこと無いはずですが)



ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

聖書を学びたい方へ <http://www.harvesttime.tv/>

Y-JESUS

学者により提示されたイエス・キリストに関する事実
<http://y-jesus.org/japanese/>